

Take ∇ Walk  
- London -







世界有数の国際都市ロンドン

ビジネスマン、起業家、アーティスト、留学生、旅人…

実に様々な人種がここで暮らしている



何気ない建築物ひとつとっても、なんともいえない重厚感を放っている

ロンドンは電線の埋設率100%  
ごちゃごちゃしているようでスッキリ見える





霧の町ロンドンも此度は晴れ模様



## バッキンガム宮殿

---



いわずと知れた女王陛下の居城、バッキンガム宮殿

衛兵の交代式の時間帯は、いつもこのような人だかりができる



トラファルガーの海戦で有名なネルソン提督を記念して作られた広場

かつての救国の勇将は今もなお、祖国を見守り続ける





ネルソン提督の足元に鎮座するライオン

やはり彼ほどの英雄ともなると、ライオンすら手懐けてしまったのだろうか

と思ったら、かつての大英帝国の象徴がライオンだったとのこと



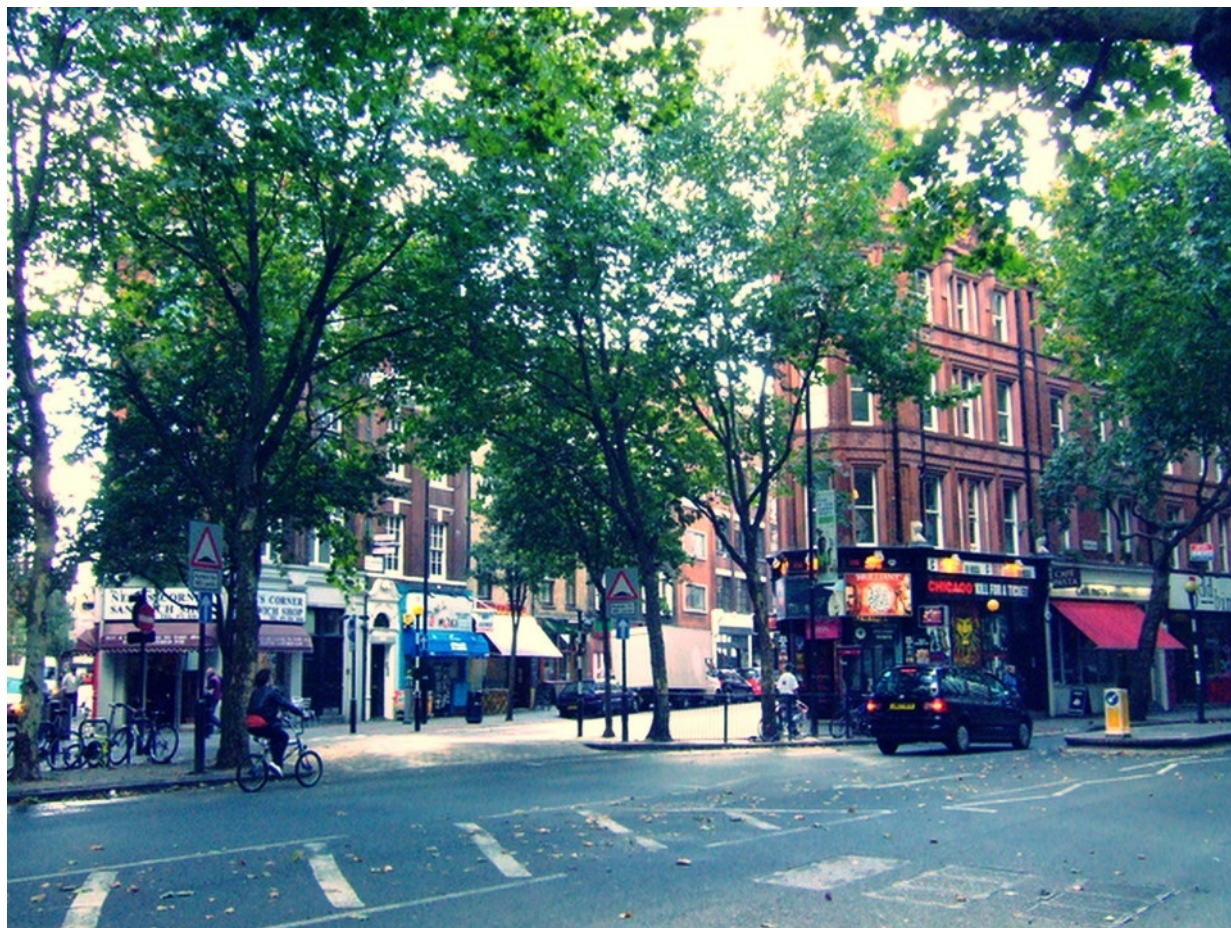
レオナルド・ダ・ヴィンチの「岩窟の聖母」等を所蔵するロンドンでもっとも有名な美術館  
目の前の「JOURNEY」のコンテナ群もアートなのかどうかは謎





首相官邸をはじめ、政府機関が立ち並ぶ国の心臓部  
日本でいえば霞ヶ関にあたる地区である

なんとなく「アビィ・ロード」を意識した構図で



ロンドンでは中心街から少しはずれると、たくさんの緑を目にできる

本日、絶好のサイクリング日和である





SANYOの看板は個人的にロンドン・アイと並ぶロンドンの残念スポットである

しかしどうやらこの看板、撤去が予定されているらしい

## ビッグ・ベンを臨む



やはりロンドン、いや英国の象徴といえばこれ



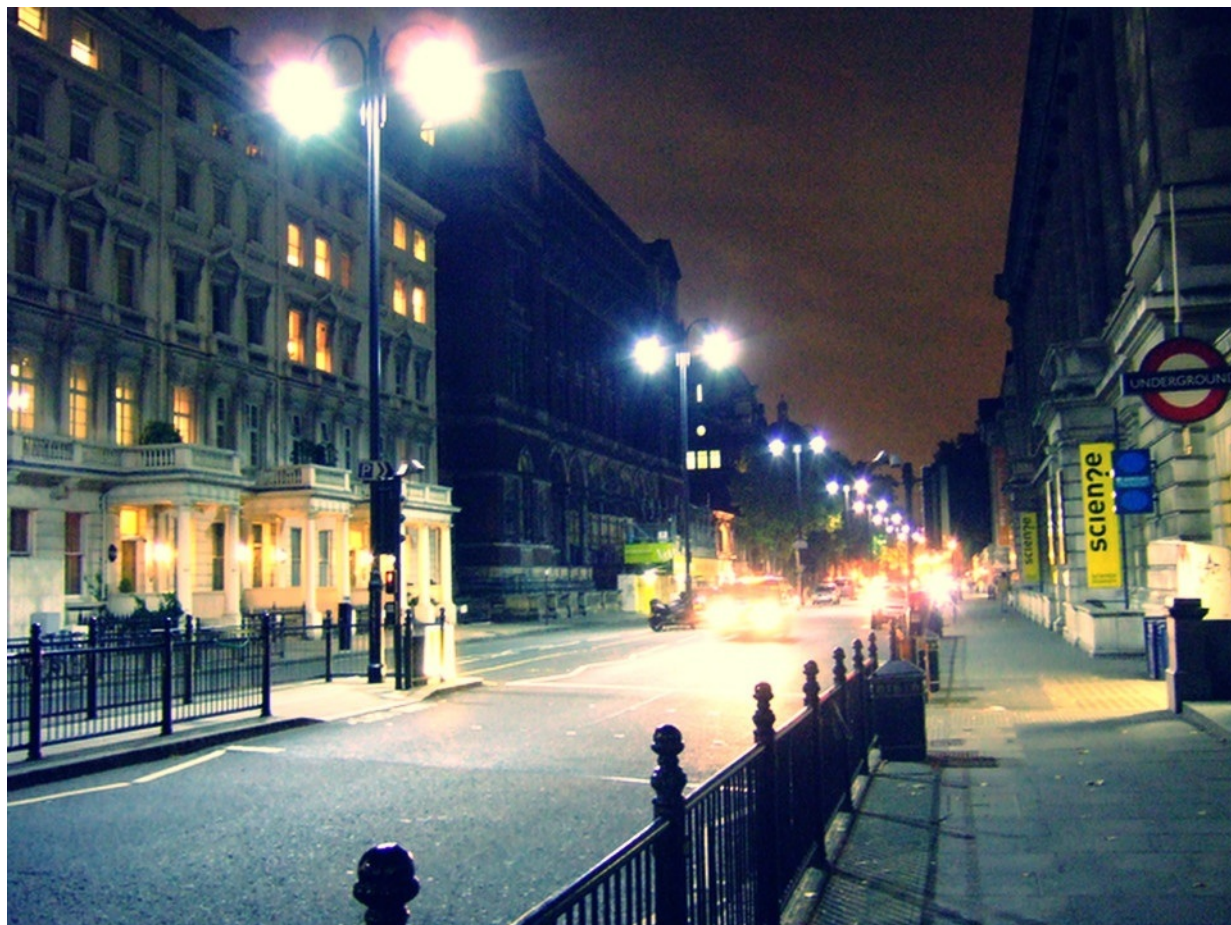


小物や絵や食器、銀器などバラエティ豊かな品揃えが楽しいマーケット

ロンドンでは珍しく、“Just Looking”でもイヤな顔をされないのがうれしい

## 夜歩き

---



夜は出歩く人の姿もまばら

大抵のロンドン市民はパブで飲むか、家でサッカー観戦に興じるのだ





ロンドンの地下鉄には浮浪者がいない

寒さに耐えられず移動するか、フリーガンに襲われる前に移動するからである



ジャック・ザ・リッパーでも飛び掛ってきそうなアヤシイ路地裏

実はロンドンきっての高級住宅街の一角なんです



出発！

---



この巨大なアーチ型屋根がいかにもターミナル駅という感じで良い

さて、短いロンドン滞在も終わり  
次なる目的地バスへいざ！

## あとがき

---

ご覧頂いてありがとうございます。

この写真は筆者が2007年夏にイギリスを訪れたときに撮影したものです。ロンドンにはわずか1日の滞在だったので、その魅力を全て堪能するにはあまりに時間がなかったのですが、それでもこの都市の持つ独特のダイナミズムを感じることはできました。

当時は1 £ = 240円という旅行者にはやさしくないレートでしたが今は半分程度なっているので、今度は1週間程度ゆっくり滞在したいです。

ちなみにこの後、筆者はバース、湖水地方を訪れましてそのときの写真も順次紹介していきたいと思います。よろしければお付き合い頂ければ幸いです。

OKi